

対ベナン共和国 国別開発協力方針

平成 29 年 10 月

1. 当該国への開発協力のねらい

ベナンは、政情及び治安情勢が不安定な国が多い西アフリカにおいて、民主的国家運営を維持・推進している代表的な国の一つであり、アフリカの平和と安定のための役割を積極的に果たしている。

一方で、国内では多くの開発課題を抱えており、国連人間開発指標は、188 か国中 167 位（2016 年）であり、依然として後発開発途上国（LDC）に留まっている。天候不順の影響を受けやすい農業や、近隣諸国とのシェア争いが熾烈な港湾産業に依存した脆弱な産業構造は、多角化が進んでおらず、同国の経済・社会発展及び貧困削減において大きな課題となっている。同国政府は 2016 年に今後 5 年間の政府の戦略方針「政府行動計画（PAG）（2016-2021）」を策定したが、2015 年の経済成長率 2.1%（世界銀行）は、同計画で目標とされている平均経済成長率 7.0%を大幅に下回っている。

ベナンは「政府行動計画（PAG）（2016-2021）」において「民主主義・法の支配・グッドガバナンスの確立」、「経済の構造改革」及び「国民生活の改善」を重点分野に掲げ、持続可能な経済成長・社会開発に取り組んでいる。これら取り組みを後押しすることは、同国の持続的成長を通じた貧困削減及び国民生活の改善に貢献し、西アフリカ地域の安定に寄与する観点から意義が高い。

2. 我が国の ODA の基本方針（大目標）：持続的成長を通じた貧困削減及び国民生活の改善

我が国は、ベナン政府が策定した「政府行動計画（PAG）（2016-2021）」の重点分野に沿って、ベナン政府が目指す経済改革等を後押ししつつ、持続的成長の促進に効果が高い分野への協力を実施することにより、ベナンの貧困削減及び国民生活の改善を目指す。

3. 重点分野（中目標）

（1）インフラ整備

ベナンの持続的成長の促進に向け、我が国の優れた技術力を活かしつつ、経済・社会活動の基盤となる質の高いインフラの整備を行う。西アフリカ「成長の環」広域開発戦略的マスタープランに留意し、また、気候変動・自然災害に対する強靱さや環境保全にも配慮しつつ、道路インフラ、エネルギー開発及び都市開発分野において支援を実施する。

(2) 産業振興

経済成長の促進には産業振興が重要。食料安全保障の観点からも、水産・養殖及び農業を支援し、収益性・生産性の向上を図る。また、中・長期的な視点から、持続的成長の担い手である産業人材の育成を支援する。

(3) 国民生活の環境改善

国民生活を支える基礎的社会サービスの改善を支援する。具体的には、国民の安全な飲料水、質の高い教育及び基礎的保健・医療サービスへのアクセス改善及び各分野における行政側の能力強化を図る。

4. 留意事項

(1) 西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)及び西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)を通じた地域協力・地域的枠組みの強化につながる案件形成に留意する。

(2) 社会的弱者(女性・障害者)の社会進出の重要性に留意する。

(3) 中堅・中小企業を含む民間セクターとの連携に留意する。

(了)

別紙： 事業展開計画